

6 商工費

1 商工費 2 商工振興費

[担当：商工観光課 H20 産業振興課] P.256

2001 商工業振興助成に要する経費 29,450,494 円 (26,442,130 円)

[国・県 1,900,000 円 その他 1,130,000 円 一財 26,420,494 円]

* 特財内訳

[使用料：駐車場使用料 1,130,000 円]

[県補：がんばる商店街支援事業補助金 1,900,000 円]

目的

市商工会や市内商店街への助成等を行うことにより、市の商工業の発展に寄与することを目的とする。

内容

市営駐車場用地借上料 1,254,483 円

茨城県厚生農業協同組合連合会より(東1丁目地先取手協同病院跡地)

41 台×2,500 円×12ヶ月

商店街活性化事業補助金 2,600,000 円

補助率：事業費の 1/2・限度額 200,000 円

13 団体(市内 12 商店会・東西口レネーション)

がんばる商店街支援事業補助金 3,800,000 円

県の補助制度である、がんばる商店街支援事業を活用し白山商店会の活性化を図った。

補助率：県 40%、市 40%、地元商店会 20%

商工会事業補助金 18,748,000 円

取手市商工会職員の人件費

(取手市商工会 11,000,000 円・取手市藤代商工会 7,748,000 円)

とりで産業まつり補助金(第 26 回) 2,000,000 円

期 日	平成 19 年 11 月 3 日(土)4 日(日)
場 所	取手利根川緑地運動公園
参加者	18,000 人

取手市藤代商工祭事業補助金(第 32 回)1,000,000 円

期 日	平成 19 年 9 月 30 日(日)
場 所	宮和田商店会通り
参加者	2,000 人

効果

助成等を行うことにより、商工会事業の安定化や商工業の活性化を図れた。がんばる商店街支援事業では、地元商店街での買い物客の誘導増加を期待し、商店街イメージの向上を図ることができた。

[担当：商工観光課 H20 産業振興課] P.258

2101 中小企業事業資金融資あっ旋事業に要する経費 107,263,129 円 (98,221,709 円)

[その他 29,409,803 円 一財 77,853,326 円]

* 特財内訳

[諸収入：自治金融資金貸付金元利収入 29,049,300 円]

[諸収入：中小企業事業資金融資あっ旋保証料補助金返戻金 360,503 円]

目的

市内の中小企業者に対する事業資金の保証を強力に斡旋し、市内中小企業者の金融の円滑化を図ることにより、企業の安定と繁栄に寄与することを目的としている。

内容

・取手市中小企業事業資金融資斡旋制度

茨城県信用保証協会の基本財産である出捐金を行うとともに、市内金融機関に1年間の預託を行い融資実行利率を低利に抑え、制度の基盤を強固なものにした。また、制度利用者に対し、保証料を補助することにより制度利用者の軽減を図った。

・取手市中小企業事業資金利子補給制度

旧藤代町においての市町村金融制度であり、市町村合併以前の自治金融制度利用者については、事業資金の借入利子について、全額を助成することにより中小企業安定対策の促進を図った。

(1)制度の内容

内 容	自 治 金 融			振 興 金 融		
	設 備	1,000 万円	返済 7 年	設 備	2,000 万円	返済 7 年
運 転	500 万円	返済 5 年	運 転	2,000 万円	返済 5 年	
保証料	年 0.50% ~ 2.20%					

(2)保証料補助の内訳

制 度	金 額	備 考
自治金融	35,740,000 円	新規 320 件・過年度 530 件
振興金融	37,331,000 円	新規 138 件・過年度 134 件
計	73,071,000 円	自治金融・振興金融保証債務残高 4,752,937,000 円(1,500 件)

(3)その他(本制度に伴う経費)

制 度	金 額	備 考
自治金融預託金	30,000,000 円	市内金融機関 8 行 14 支店に預託 (平成 19 年 10 月 12 日 ~ 平成 20 年 10 月 12 日)
損失補償寄託金	2,100,000 円	茨城県信用保証協会に寄託

(4)自治金融制度利子補給補助金(旧藤代町分)

制 度	金 額	備 考
自治金融制度利子補給補助金	2,072,129 円	対象件数 150 件・通信費 20,000 円

効果

中小企業者が金融機関から事業資金の融資を受ける際、市が公的な保証人となることにより、借入が容易になり、中小企業の融資が円滑に実行され、経営の安定化が図られた。

1 商工費 4 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理費

[担当：商工観光課 H20 産業振興課] P.262

2101 働く婦人の家・勤労青少年ホーム活動に要する経費 810,185 円 (328,320 円)

[一財 810,185 円]

目的

働く婦人及び勤労青少年の福祉の促進と健全な育成を図る。

内容

主催講座名	平成 19 年度		平成 18 年度	
	延回数	延人数	延回数	延人数
簿記 3 級	18 回	206 人	18 回	248 人
簿記 2 級	40 回	515 人	40 回	561 人
しめ飾り	1 回	32 人	1 回	30 人

効果

働く婦人及び勤労青少年に対する教養・趣味・レクリエーション・余暇等の活用のため便宜を供与し、地域住民との交流を深め、また健全な育成と福祉の増進を図ることができた。

1 商工費 5 消費生活対策費

[担当：商工観光課 H20 産業振興課] P.264

2001 消費生活対策に要する経費 5,903,080 円 (5,850,181 円)

[その他 21,600 円 一財 5,881,480 円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 21,600 円]

目的

消費者の利益の擁護及び増進に関する対策の推進を図り、市民の消費生活の安全を確保する。

内容

(1)消費生活相談業務 4,095,560 円

市民の消費生活上の苦情・相談の問題解決にあたり、消費者被害の救済及び消費者被害の未然防止を図り消費者保護に努めた。

業務日	月曜日～金曜日
業務時間	午前 9 時～午後 4 時 30 分
相談員数	2 人
相談件数	953 件 (H18 1,308 件)

(2)消費生活展委託料 900,000 円

市民を対象として、消費者問題を多面的かつ具体的に取り上げる啓発事業で、参加者に対する問題提起・啓発推進のイベントを開催した。

開催日	平成 19 年 11 月 17 日(土)・18 日(日)
場 所	福祉交流センター 多目的ホール
来場者数	900 人 (H18 900 人)

(3)フリーマーケット委託料 180,000 円

一般家庭で温存している不用品を、必要な人へ譲り合うことにより、資源の節約と消費生活の合理化を図った。

開催日	平成 19 年 7 月 7 日・10 月 8 日・12 月 1 日
出店舗数	220 店 (H18 185 店)
参加者数	2,800 人 (H18 3,000 人)

(4)資源再利用事業委託料 180,000 円

限りある資源の再利用の一環として、自転車修理講習会を開催、資源の有効利用についての啓発・指導に努めた。

実施回数	年7回(5月～10月)
延動員数	73名(H18 70名)
修理台数	91台(H18 115台)

効果

消費生活に関する種々の情報を、広く一般消費者に提供することができた。また、消費生活の知識の向上や、活動の啓発を図り、消費者の安全と保護に貢献できた。

1 商工費 6 観光費

[担当：商工観光課 H20 産業振興課] P.266

2001 観光事業に要する経費 29,308,720 円 (24,347,220 円)

[国・県 48,720 円 一財 29,260,000 円]

* 特財内訳

[県補：観光客動態調査委託金 48,720 円]

目的

本市の観光事業の振興を図るため、市観光協会の各事業に助成し、郷土愛の高揚に貢献する。

内容

(1)小堀古利根周辺の清掃管理委託料 360,000 円

(2)観光ガイドマップ作成委託料 1,774,500 円

・市内に点在する工芸、彫刻などのアート作品を史跡とともに紹介する「観光アートガイドブックとりで」を創刊。

B5 版 カラー全 20 ページ(付録 B3 版ガイドマップ付) 20,000 部作成

(3)観光客動態調査委託料 48,720 円 (調査対象 キリンビール取手工場)

(4)漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 621,000 円

(5)市観光協会補助金 26,500,000 円

第 30 回子供天国

期 日	平成 19 年 4 月 29 日(日)
場 所	取手利根川緑地運動公園
参加者	12,000 人 (H18 12,000 人)

第 54 回とりで利根川大花火

期 日	平成 19 年 8 月 11 日(土)
場 所	取手利根川緑地運動公園
観客数	100,000 人 (H18 90,000 人)

第 32 回とりで利根川灯ろう流し

期 日	平成 19 年 8 月 25 日(土)
場 所	利根川河畔
参加者	2,500 人 (H18 2,000 人)

第 41 回とりで利根川たこあげ大会

期 日	平成 20 年 1 月 14 日(月)
場 所	取手利根川緑地運動公園
参加者	6,000 人 (H18 6,000 人)

第 38 回とりで利根川どんどまつり

期 日	平成 20 年 1 月 14 日(月)
場 所	取手利根川緑地運動公園
参加者	1,500 人 (H18 1,500 人)

第 38 回たこあげ大会どんどまつりフォトコンテスト

期 日	平成 20 年 2 月 14 日から 2 月 22 日
場 所	市役所 1 階ロビーに入賞作品展示
応募数	92 点 (H18 99 点)

第 5 回桜ライトアップ事業

期 日	平成 20 年 3 月 28 日(金)から 平成 20 年 4 月 9 日(水)
場 所	老人福祉施設 さくら荘 桜並木
観客数	3,000 人 (H18 2,000 人)

効果

観光協会主催の恒例の観光事業に対し、市民の理解が得られ、多くの参加をいただくことができた。特に花火大会、たこあげ大会、どんどまつりについては、天候にも恵まれ例年になく大勢の観覧者で賑わった。また、観光協会ホームページの開設をしたり、観光アートガイドブックを創刊したことで、市内の観光や行事について広く PR することができた。特にアートガイドブックについては、様々な場所で配布し好評を得ることができた。